



平成29年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年5月2日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)蓮井 隆之 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日~平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	10,272	1.9	1,253	22.9	1,249	24.5	797	33.0
28年12月期第1四半期	10,076	3.0	1,019	19.8	1,003	15.9	600	33.2

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 812百万円(197.1%) 28年12月期第1四半期 273百万円(△54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	41.00	—
28年12月期第1四半期	30.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	49,195	36,121	64.8
28年12月期	49,165	35,526	63.6

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 31,881百万円 28年12月期 31,266百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	5.00	—	10.00	15.00
29年12月期	—	—	—	—	—
29年12月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日~平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,000	1.4	1,600	0.4	1,600	1.6	950	3.3	48.82
通期	40,700	3.4	3,200	11.6	3,250	11.2	1,950	12.0	100.21

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年12月期 1 Q	20,763,600株	28年12月期	20,763,600株
29年12月期 1 Q	1,303,613株	28年12月期	1,303,486株
29年12月期 1 Q	19,460,021株	28年12月期 1 Q	19,460,516株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、アジア新興国等の景気の減速など海外経済の不確実性の高まりなどから、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得支援策などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られるものの、回復ペースは鈍化しており、厳しい環境が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は10,272百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は1,253百万円（前年同期比22.9%増）、経常利益は1,249百万円（前年同期比24.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は797百万円（前年同期比33.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン『ラルクシールド』や、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能「RDS（減速降下機能）」を搭載したヨコ型ブラインド『パーフェクトシルキー』など、昨年発売した付加価値の高い製品の市場浸透に注力したほか、光漏れを抑え、遮蔽性を向上させたオフィス・店舗・施設向けヨコ型ブラインド『モノコムシェイディ』の製作可能サイズを拡大するなど、顧客満足度の向上と市場拡大に取り組んでまいりました。

また、窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた新たな販促物「窓まわりセレクション」により、様々なシーンや用途に合わせたトータルコーディネートを提案してまいりました。

以上により、売上高は8,902百万円（前年同期比0.6%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,198百万円（前年同期比22.4%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

機械式立体駐車場を取り巻く市場環境に持ち直しの動きが見られ、駐車場装置の新規受注が好調に推移したことで、売上高は560百万円（前年同期比13.2%増）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みにより、38百万円（前年同期比549.5%増）となりました。

[減速機関連事業]

設備投資に持ち直しの動きが見られるなか、シャッター開閉機や特殊減速機等の受注が堅調に推移し、売上高は810百万円（前年同期比10.1%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動に努めましたが、生産体制強化に伴う費用の増加等の影響により、16百万円（前年同期比51.8%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は49,195百万円で、前連結会計年度末と比較し29百万円の増加となりました。

(資産)

流動資産は31,888百万円で、前連結会計年度末と比較し124百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が減少した一方で、受取手形及び売掛金、棚卸資産が増加したことによるものであります。

固定資産は17,306百万円で、前連結会計年度末と比較し94百万円の減少となりました。これは主に、無形固定資産が増加した一方で、有形固定資産が減価償却により減少したことや、保有株式の時価の下落等により投資有価証券が減少したことによるものであります。

(負債)

負債は13,073百万円で、前連結会計年度末と比較し565百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、未払金および未払法人税等が減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は36,121百万円で、前連結会計年度末と比較し595百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものであります。なお、自己資本比率は64.8%と、前連結会計年度末と比較し、1.2ポイントの増加となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取り組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成29年2月7日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,578,280	10,079,894
受取手形及び売掛金	14,673,552	15,066,862
商品及び製品	613,535	769,107
仕掛品	1,313,861	1,294,819
未成工事支出金	105,363	72,520
原材料及び貯蔵品	3,381,360	3,517,897
その他	1,114,075	1,101,016
貸倒引当金	△15,859	△13,311
流動資産合計	31,764,169	31,888,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,068,546	13,070,773
減価償却累計額	△8,752,971	△8,823,258
建物及び構築物(純額)	4,315,574	4,247,515
土地	7,396,065	7,396,065
その他	14,937,694	14,918,653
減価償却累計額	△13,705,566	△13,728,282
その他(純額)	1,232,128	1,190,371
有形固定資産合計	12,943,769	12,833,952
無形固定資産	261,934	313,356
投資その他の資産		
投資有価証券	2,150,947	2,116,003
退職給付に係る資産	314,648	315,178
その他	1,922,412	1,921,732
貸倒引当金	△192,561	△193,855
投資その他の資産合計	4,195,446	4,159,059
固定資産合計	17,401,150	17,306,369
資産合計	49,165,319	49,195,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,388,428	6,512,371
未払法人税等	700,170	481,189
賞与引当金	210,308	614,400
役員賞与引当金	71,415	16,337
製品保証引当金	12,193	4,147
工事損失引当金	3,425	-
その他	2,577,860	1,780,388
流動負債合計	9,963,800	9,408,834
固定負債		
役員退職慰労引当金	336,409	330,404
退職給付に係る負債	3,266,021	3,281,724
その他	72,699	52,747
固定負債合計	3,675,130	3,664,875
負債合計	13,638,931	13,073,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,016	4,395,016
利益剰余金	23,110,538	23,713,808
自己株式	△668,179	△668,293
株主資本合計	31,312,375	31,915,532
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	522,366	514,233
繰延ヘッジ損益	5,983	610
為替換算調整勘定	40,760	36,249
退職給付に係る調整累計額	△615,090	△584,948
その他の包括利益累計額合計	△45,979	△33,854
非支配株主持分	4,259,992	4,239,786
純資産合計	35,526,387	36,121,464
負債純資産合計	49,165,319	49,195,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	10,076,901	10,272,724
売上原価	5,638,912	5,682,049
売上総利益	4,437,989	4,590,675
販売費及び一般管理費	3,418,598	3,337,609
営業利益	1,019,390	1,253,066
営業外収益		
受取利息	1,984	277
受取配当金	1,646	1,737
不動産賃貸料	7,944	8,959
その他	18,518	19,535
営業外収益合計	30,094	30,510
営業外費用		
支払利息	67	4
手形売却損	1,204	-
売上割引	19,891	20,303
為替差損	21,546	10,204
その他	2,848	3,428
営業外費用合計	45,558	33,939
経常利益	1,003,927	1,249,636
特別利益		
固定資産売却益	4	-
特別利益合計	4	-
特別損失		
固定資産除却損	291	253
特別損失合計	291	253
税金等調整前四半期純利益	1,003,640	1,249,383
法人税、住民税及び事業税	404,252	447,581
法人税等調整額	△14,306	△13,957
法人税等合計	389,945	433,623
四半期純利益	613,694	815,759
非支配株主に帰属する四半期純利益	13,588	17,887
親会社株主に帰属する四半期純利益	600,105	797,871

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	613,694	815,759
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△336,743	△24,718
繰延ヘッジ損益	△6,750	△5,372
為替換算調整勘定	△10,646	△4,510
退職給付に係る調整額	13,866	31,211
その他の包括利益合計	△340,273	△3,390
四半期包括利益	273,420	812,368
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,993	809,997
非支配株主に係る四半期包括利益	△34,572	2,371

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,846,344	495,041	735,515	10,076,901	—	10,076,901
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	21,493	21,493	△21,493	—
計	8,846,344	495,041	757,008	10,098,394	△21,493	10,076,901
セグメント利益	978,968	5,918	34,503	1,019,390	—	1,019,390

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	8,902,340	560,363	810,019	10,272,724	—	10,272,724
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	22,371	22,371	△22,371	—
計	8,902,340	560,363	832,391	10,295,096	△22,371	10,272,724
セグメント利益	1,198,006	38,442	16,618	1,253,066	—	1,253,066

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。